

西大和つうしん

2021年11・12月号

No.464



長い稜線歩きを経て、ようやく笠ヶ岳山頂に近づいた《2021.8.21》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第464号(2021年11・12月号)

【目次】

11・12月度山行計画.....	2
11・12月度カレンダー.....	4
山行・行事等参加メモ.....	5
山行報告	
・自主山行 《8/20-22》 北アルプス 笠ヶ岳(岩田・橋本).....	6
・自主山行 《8/26-30》 北アルプス 裏銀座(杉村).....	7
・自主山行 《10/3-8》 三国山脈 谷川岳・苗場山(岩田).....	10
2021年度第1回運営委員会議事録.....	12

11 月 度 山 行 計 画

お待たせしました。秋の公開山行のご案内！！

～史跡を巡る。飯盛山～野崎観音～

公開山行

例会山行1 生駒山地 《飯盛山 314.3m》

【日 程】 11月7日(日) (L島崎)

※ 参加者はリーダーまで申込み(10月24日締切り)

【集 合】 JR 王寺駅 8:10

【交 通】 往路：王寺 8:25⇒8:51 放出 8:55⇒9:08 四条畷

復路：野崎 14:58⇒15:09 放出 15:13⇒15:28 久宝寺 15:36⇒15:48 王寺

【コース】 四条畷駅～四条畷神社～飯盛山～野崎観音～野崎駅

※ 歩行時間：約4時間(休憩含まず) ※ 歩行距離：約7km

- ※ ・公開山行は、体験山行とは異なり、広く一般の方に参加戴ける山行です。
- ・入会を前提とせずお知り合いやご家族など、積極的に誘ってください。
- ・当日は、一般参加者が親しめるよう積極的なお声掛けをお願いします。

～紅葉求めて鈴鹿北部の最高峰の山へ！～

例会山行2 鈴鹿山脈 《御池岳 1,247m》

【日 程】 11月14日(日) (L杉村)

※ 参加者はリーダーまで申込み(10月31日締切り)

【集 合】 上牧町役場前駐車場 6:00

【コース】 コグルミ谷登山口～(75)～カタクリ峠～(100)～ポタンブチ～(15)～御池岳～(60)～鈴北峠～(60)～鞍掛峠～(20)～鞍掛トンネル東口～(20)～コグルミ谷登山口

※ 歩行時間：約6時間(休憩含まず)

例会山行2 《事前講習会》

【日 程】 11月20日(土) (L野路)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月6日締切り)

- ※ 11月28日(日)の搬出講習会については、西大和山の会が担当のため事前に講習会を実施することになりました。
- ※ 集合場所、講習内容、持ち物等については、詳細が決まり次第HP、メールでご案内します。

～搬出講習会を通して、万一の事故に備えましょう～

例会山行1 県連主催 《搬出講習会》

【日 程】11月28日(日) (L都築)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月14日締切り)

※ 集合場所、講習内容、持ち物等については、詳細が決まり次第HP、メールでご案内します。

12 月 度 山 行 計 画

～山頂で秋冬の素晴らしい眺めを楽しみましょう！！

澄んだ日には北アルプスや南アルプスも望む事が出来るそうです～

体験山行対象

例会山行1 鈴鹿山脈 《水無山 990.7m～綿向山 1,110m》

【日 程】12月5日(日) (L橋本)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月21日締切り)

【集 合】上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】御幸橋駐車場～表参道登山口～(水無山北尾根コース)～水無山分岐
～水無山～水無山分岐～綿向山～(表参道コース)～表参道登山口～
御幸橋駐車場

※ 歩行時間：登り2時間30分 下り1時間50分

※ 本山行は、体験山行の対象です。コロナワクチン2回接種された方に限定させていただきます。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的にお誘いください。

※ 参加されますメンバーによっては、往復表参道コースに変更する場合があります。

～霧氷の展望を楽しみに！！～

例会山行2 金剛山地 《金剛山 1,125m》

【日 程】12月12日(日) (L杉村)

※ 参加者はリーダーまで申込み(11月28日締切り)

【集 合】上牧町役場前駐車場 8:00

【コース】千早赤坂(9:00)～ツツジ尾谷～山頂(11:00)～細尾谷～ロープウェイ前⇒(バス)
⇒千早赤坂

※ 歩行時間：約5時間(休憩含まず)

※ 天候によりますが、積雪が多くあるようならコース変更もあり。

※ ひとと停留所バスに乗ります。便は多いです。

・・・今年最後の納山山行、皆さんで楽しい一日を・・・

西大和山の会 カレンダー

11月			12月		
1	月		1	水	
2	火	県連理事会	2	木	
3	水		3	金	
4	木		4	土	
5	金		5	日	体験山行・例会山行1《水無山・綿向山》(橋本)
6	土		6	月	
7	日	公開山行・例会山行1《飯盛山》(島崎)	7	火	県連理事会
8	月		8	水	
9	火		9	木	
10	水		10	金	
11	木		11	土	西大和つうしん原稿締切
12	金		12	日	例会山行2《金剛山》(杉村)
13	土		13	月	
14	日	例会山行2《御池岳》(杉村)	14	火	
15	月		15	水	
16	火		16	木	
17	水		17	金	
18	木		18	土	
19	金		19	日	室内例会
20	土	例会山行2・事前講習会(野路)	20	月	
21	日		21	火	
22	月		22	水	
23	火		23	木	
24	水		24	金	
25	木		25	土	
26	金		26	日	
27	土		27	月	
28	日	例会山行1・県連「搬出講習会」(都築)	28	火	
29	月		29	水	
30	火		30	木	
			31	金	

山行報告

自主山行 北アルプス 笠ヶ岳 2,897.6m

【日程】8月20日(金)～22日(日)

【参加者】L野路・橋本・亀高・杉森・岩田(5名)

8月20日(金) 晴れ後小雨 新穂高温泉から鏡平山荘へ

【コース】新穂高温泉駐車場(9:05)～笠新道分岐(10:22)～ワサビ平小屋(10:35/11:00)～小池新道登山口(11:25)～秩父沢出合(12:42)～シシウドヶ原(14:33)～熊の踊り場(15:16)～鏡平山荘(15:40)

長雨が続きすっきりしない天気であったが午前4:00に佐味田川を出発する。新穂高温泉に到着し蒲田川左俣谷コースに行く。水量の多い水色の川の流れの音を聴きながらワサビ平小屋に着く。人は少なく皆で冷やしトマトを頬張り美味しかった。2時間余り林道歩きがことのほか長く、小池新道登山口よりいよいよ上りが始まる。時折青空も見え峰々を望むことができ感嘆の声が上がる。北アルプスの登り口に来たと思うと気分が高揚する。その後雨がちらつき始め、草花や小動物を楽しみながら鏡平山荘に着く。残念ながら小雨模様で鏡池に映る穂高連峰は見る事ができなかった。鏡平小屋はコロナ対策もしっかりされており、改装されたばかりでとても気持ちよかった。



(記:岩田礼子)

8月21日(土) 雨時々曇り一時晴れ 鏡平山荘から笠ヶ岳山荘へ

【コース】鏡平山荘(6:05)～弓折岳分岐(7:08/15)～弓折岳(7:20)～大ノマ乗越(7:50)～秩父平(10:15)～笠新道分岐(12:15)～笠ヶ岳山荘(13:55/14:25)～笠ヶ岳山頂(14:40/15:00)～笠ヶ岳山荘(15:15)



鏡平池に映る風景を見たいとかねがね思っていたので、この山行はとても楽しみにしていた。でもその思いは届かず残念!! 池に広がる雨粒の波紋を見ながら、また来られるかなと思いつきながら歩く。昼間は晴れのマークが出ている天気予報もあったので期待しながら歩いた。弓折岳稜線辺りでうす曇りになり、歩いてきた道を振り返ると青空が見え薬師岳や双六岳、雄大な鷲羽岳等望む事が出来た。しばし山座同定を楽しむ。好天は長く続かなかったが雨の中歩いていると4羽の雷鳥に出会い心が和む。親子連れかな? 山荘手前は穏やかな登りではあるが岩場が続き疲れた足には堪えた。岩に「山荘スグソコ」とペンキで書かれていてもうひと頑張り。やっと山荘に到着した頃運よく雨がやみ雲の合間から顔を出した槍ヶ岳、穂高連峰の雄姿に感動。雨の中頑張った甲斐があった。頂上までは往復30分程なのでザックを置いて登りピークを踏んだ。

(記:橋本紀子)



8月22日(日) 雨時々薄曇り 笠ヶ岳山荘から新穂高センターへ

【コース】 笠ヶ岳山荘(5:30)～笠新道分岐(6:40)～杓子平(8:20)～笠新道登山口(12:20)～新穂高センター(13:45)

夜中から早朝にかけ時折強い雨が降る。最終日は笠新道登山道から下山する。山荘直下の岩場には「サヨウナラ」とペンキでかかれていた岩があり何となく寂しい気持ちになるのと、その言葉で山荘の方々の優しさが伝わりチョッピリセンチメンタルに!!

下山道は、岩場が多く滑らないよう足の置き場に気を遣う。登山道は雨のため沢のようになっている箇所が多く靴の中はびしょびしょ!! まだかまだかと思いながら長い長い下山道をひたすら下り、足の疲れがピークを迎えたところにやっと登山口に到着。レインウエアーが活躍した山行だったが雨にも負けず楽しい有意義な山行となった。 (記：橋本紀子)

自主山行 北アルプス 裏銀座

(鷲羽岳 2,924.2m～水晶岳 2,986m～野口五郎岳 2,924.3m)

【日程】 8月26日(木)～30日(月)

【参加者】 L 杉村・島崎 (2名)

8月26日(木) 曇り 新穂高温泉から鏡平山荘へ

前日まで3日間雨続きだったそうです。小屋に1日待機していた方は雲の平に行けず下山するとのことでした。鏡平までは以前の笠ヶ岳山行時の全山紅葉を思い出しながら懐かしく歩いた。小屋到着時はガスが掛かっていた槍ヶ岳が食事中に穂高連峰とともに見えだし、明日の裏銀座山行が待ち遠しかった。

8月27日(金) 晴れ 鏡平山荘から水晶小屋へ

【コース】 鏡平山荘(5:24)～弓折乗越(6:10)～双六小屋(7:45/8:06)～三俣山荘(11:21/57)～鷲羽岳(13:17/44)～ワリモ岳(14:13/36)～水晶小屋(15:44)

2日目、清々しい中今日も元気に出発。弓折分岐途中にて槍からの眩いご来光と穂高連峰のシルエット、そして焼岳、乗鞍、御嶽山方向には荘厳な雲海があり、早朝からの好展望に感激、いつの間にか弓折岳分岐に出た。

笠とは反対の双六方面へ進む。ここから常に槍、穂高連峰の稜線と並行する。弓折岳山頂は前回行ったので右に巻き、疲れな程度のアップダウンにて双六小屋が見えてくる。小屋周辺の双六池には色とりどりのテントで賑やかだった。小屋の目の前には鋭角に突き出した鷲羽岳が羽を広げてドンと大きく見える。今回は北アルプスのヘそと言われる最深部へ、ワクワクもので進んだ。双六小屋から途端に私たちだけの静かな山歩きが出来、峰々が間近に見え山の雰囲気伝わってくる。槍に向かって手を広げ「素晴らしい!」、Sさんに「素晴らしいですね。こんな絶景をふたりで見るのは勿体ないですね。」と声をかけた。



ハイマツの中からライチョウのクゥォという低い鳴き声、どこに子がいるのかなと・・・足元に寄ってきていたが気がつかず踏みそうに、オットっと・・・ライチョウは動じなかった。双六から三俣蓮華までいくつもの沢が出来て美味しい水が流れていた。これも3日続きの雨のせいかな? この付近で遠くから見れば黄色の花が咲いているように見えたのは、コバイケイソウが枯れている光景であった。ハクサンフウロ、イワギキョウ、クルマユリ、チングルマ、ミヤマキンバイ、トウヤクリンドウ、ハハコグサ、コマクサ、アキノキリンソウ、多くの花が咲いていたが遅い感があった。チングルマも穂になっていた。

前方に三俣蓮華が見え、どこまでも縦走路が見えた。この近くでやっと登山者に出会う。それまで好絶景の裏銀座を長時間静かに歩けるのは珍しいのではないかな、とても贅沢なことをさせてもらっていると思った。三俣山荘の従業員がコロナに感染したからと小屋はクローズされていたが、小屋前の休憩所には烏帽子から来たのか数人ランチを取っていた。私たちも同様に食事する。鷲羽岳登山口から少し上ったところにライチョウ 6,7羽が固まって砂浴びをしていた。



急登のザレ場で足をとられないように一歩一歩、僅かの休憩をとり約1時間30分で岩の鷲羽岳山頂へ。360度、3000m級の北アルプスの山々の大展望。それは素晴らしい山の世界であった。

眼下には神秘的な鷲羽湖が見え、稜線に目をやると明日の縦走路である黒色の水晶岳、白色の野口五郎岳など一つ一つ特徴ある山がはっきりと見てとれる。鷲羽岳下山はザレ場に気を付けながら次の山へ、ザレ場と僅かな岩のワリモ岳へと進み水晶小屋に着いた。小屋は雲の平に行く中間地点なのでツアー客もいて混んでいた。

8月28日(土) 朝方一時霧雨、後晴れ強風 水晶小屋から烏帽子小屋へ

【J-スタイル】 水晶小屋(6:00)～水晶岳(6:40)～水晶小屋(7:20/50)～野口五郎小屋(11:15/12:00)～烏帽子小屋(15:15)

3日目、ガスの中水晶岳へ。登り始めはなだらかな道だが、進むにつれ岩となり岩峰の山なのだとわかる。山頂では登ってきた反対側に赤牛岳、読売新道への標識があった。以前に歩きたかったコースである。ガスが出て展望が望めないのが早々と下りたが、小屋について暫くすると天気も回復。もう1時間後だったら…残念。小屋から急坂をぐいぐい下り振り返ると真っ青の空に水晶岳が見えた。初めに計画していた竹村新道分岐があった。真砂岳は岩場をトラバースして巻いた。そのころから変な雲が出てきて五郎岳手前から見る間に強風が、幸



いに雨が降ってなかったのもまだよかったが、立ってられないし腰を低く低くしてよろけながら五郎岳に上った。きっとザックの重さがなければ飛ばされていたのでは……。風除けの場所がないからどうなることかと、やっとのことで広場のある野口五郎岳山頂へ。登山者一人おられたので強風の中記念写真を撮る。早々に山頂直下にある野口五郎小屋に立ち寄り。しかしびっくり、中は真っ暗。電気が使えないということでほんとに暗い、隣にクマがいてもわからない小屋でコーヒーを飲む。この小屋はトレランの人がいたり、ギターを弾いてる

人がいたり他的小屋と雰囲気全然違って印象的。落ち着いてから烏帽子へ出発。

小屋を出るとき小雨だったが三つ岳付近では山の天気となる。ガスと風で大岩の傍で休憩をとってから気が付いたのだが、砂礫の中にコマクサが見えてびっくり。もちろん踏まないようにそーっと出た。烏帽子小屋手前で高瀬湖が見えだす。丁度ガスが流れて、珍しいダム湖を見たかったのでラッキーだった。小屋近くに来ていると思っていたが長い階段とテン場などがあって中々小屋に着かなかった。



8月29日(日) 晴れ 烏帽子小屋から高瀬ダムへ

【J-タイム】 烏帽子小屋(5:10)～裏銀座登山口(8:18)～高瀬ダム(9:00)

3日目、烏帽子小屋から元気に出発、前日に高瀬ダムから大町までのタクシー同乗希望者さんに声をかけられていたので裏銀座登山口で落ち合うことに。ブナ林を下山中に雲海の中から幻想なご来光と遭遇、今日もいい天気。樹林帯にはNo.12から1までの番号が付いていて、どの辺を下山中かわかるようになっている。No.6で携帯が通じるようになっていた。そこで同乗者と会ったので同時に下山する。No.3辺りから登山者が多く何度か待つことになるが登山口には思いのほか早く着いた。しかし、高瀬ダムまでは沢を渡り僅かな丘を越え長いトンネルを歩き、タクシー乗り場まで40分ほどかかった。

縦走山行できるのは今年が最後かなと思ったので計画しました。今回の裏銀座縦走は100%以上の山行が出来、同行者さんに感謝しきれません。心から有難うございました。

(記：杉村好子)

自主山行 三国山脈 谷川岳 1,977m 苗場山 2,145.2m

【日程】10月3日(日)～8日(金)

【参加者】L 野路・島崎・岩田(3名)

10月3日(日) 晴れ 佐味田川から土合へ

10月4日(月) 晴れ 土合口駅から蓬ヒュッテへ

【コースタイム】土合口駅(4:45)～西黒尾根登山口(5:00)～ラクダのCOL(7:45)～

谷川岳・トマノ耳(9:56/10:35)～谷川岳・オキノ耳(10:55)～一ノ倉岳(12:33)～

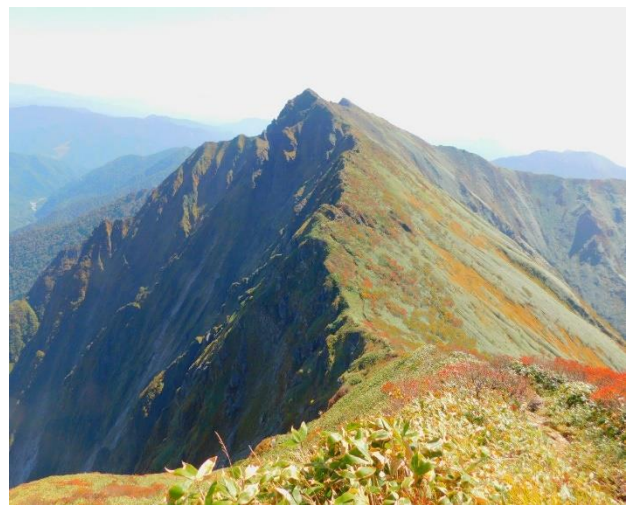
茂倉岳(13:01)～武能岳(15:21)～蓬ヒュッテ(16:24)

台風明けで絶好の登山日和となった。薄暗い中、西黒尾根より2時間樹林帯の急登を行う。麓付近はまだ紅葉は見られなかった。

ラクダのCOL辺りまで登ると、視界も開け素晴らしい展望の中を進む変化に富んだ道だった。谷川ブルーに映える二つの耳が見えた時は感動した。天神平までのロープウェイはこの時間はまだ動いていないようだった。オキノ耳、トマノ耳山頂付近は人気の山で人も結構多かった。一ノ倉沢辺りの崖を見ながら絶壁に足がすくむ。

一ノ倉岳～茂倉岳～武能岳へはアップダウンを繰り返し結構長かったが、広大な緑の笹原に点在する赤や黄色のコントラストがとても美しく見とれる。遠くには苗場山も見えた。快晴の中思う存分景色を堪能し稜線歩きを楽しんだ。

蓬ヒュッテに着いてすぐの往復20分の水くみ、太陽光発電が作動せず、薄暗い中の夕食、狭い寝床何だかとても疲れたが、ここまで来ることができたという満足感に浸りながら眠りについた。



10月5日(火) 晴れ 蓬ヒュッテから土合口駅へ

【コースタイム】蓬ヒュッテ(5:17)～七ツ小屋山(6:02)～大源太山(7:35)～七ツ小屋山(9:16)～

蓬ヒュッテ(10:03/41)～白樺小屋(11:52)～JR 巡視小屋(13:56)～

一ノ倉沢出合(14:50)～土合口駅(15:55)

2日目も快晴、蓬峠より大源太山まで往復した。ここまで来る人は少ないようだ。途中この山は日本のマッターホルンの一つで、ここが三つ目だというご夫婦に出会った。なるほどかっこよく岩場、鎖場もあり変化に富んでいた。新潟側は益々紅葉が進んでいた。昨日登った谷川連峰を望むことができ、360度どこを見ても絵になり感慨深かった。

蓬ヒュッテまで戻り昼食をとり下る。途中この馬蹄形のコースを（私達は途中で下ったが）、一日で一周すると言う反対周りから来た天神ロッジのオーストラリア出身のご主人と犬のラッキーに出会いびっくり！（若さには勝てない） これでもかという下りで足に血マメができ距離の長いことを知らされる。



やっと一ノ倉沢出合に着く。これが遭難者の数でギネスに載った岸壁なのかと驚く。その後 1 時間のアスファルト道路の長い距離の歩きで、疲労も頂点に達した。だが土合口駅に戻って来た時は二年越しで念願の谷川岳に来ることができた喜びと達成感に浸った。



10月7日（木） 晴れ時々曇り 祓川登山口から苗場山往復

【3-5時間】 祓川登山口(6:10)～和田小屋(6:32)～下ノ芝(8:00)～神楽ヶ峰(9:30)～苗場山(11:00/50)～神楽ヶ峰(13:13)～下ノ芝(14:45)～和田小屋(16:05)～祓川登山口(16:23)

前日が雨の為 1 日延ばして、天気の良い苗場山に登ることにした。温泉と休養が効いたのか再び登る元気がでた。祓川登山口より和田小屋を過ぎ、雨に濡れた大きな岩の連続 3 時間は神経を使った。ようやく神楽ヶ峰に着き、雲海に浮かぶ峰々、ダケカンバの木々とパッチワークのような紅葉に見とれる。残念ながら雲がかかって谷川岳は望むことができなかった。

やっと頂上に着く。どこも楽に登ることのできる山はないなとつくづく思う。頂上台地では木道歩きを楽しみながら無数の池塘と草紅葉、初めて



見る景色に感動した。

帰りの滑りやすいゴロゴロ道はとても長く感じた。結果的に中 1 日の休みがあった為、1 日の行程が長い 3 日間を無事に歩き通すことができた。天候に恵まれ紅葉を楽しみながら、中々行くことのできない上越の山を満喫した。

この頃は、夏日に近く暑かったが、その 10 日後には例年より早い初冠雪を記録し、気候の変化が激しい時期だなと思い、この時期に来られてよかったと思った。（記：岩田礼子）



2021年度 第1回運営委員会議事録

【日 時】2021年10月22日（金）19:30～20:45 美しヶ丘集会所

【出席者】永井・杉森・野路・岩田・島崎（オブザーバー）・都築（記録）

運営委員会案件

1. 県連主催ハイカーのための搬出講習会について

- 11月28日開催予定の県連主催ハイカーのための搬出講習会について、永井会長より県連からは昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となったが、今年度については実施したいとのことであった。ただ、新型コロナウイルスの感染は減少しつつあるものの今回は西和消防署での講習は中止となり、また、接触は避けたいとのことから講習のやり方を担当の会である西大和山の会で案を出してほしいとのことと会で検討することになった。

運営委員会として以下の意見がありました。

- ① 搬出講習会は実際に事故が起こって怪我をしたものとして、応急手当及び搬出訓練を実施するものであるのでそれができないのであれば今回はやる意味がないので中止にするべきである。
- ② 県連の要望なので実施するとすれば、日本勤労者山岳連盟近畿ブロック「搬出技術講習会テキスト」の2ページから12ページをコピーして参加者に配布して説明する。コピー代は県連から出るか確認する。
- ③ 雨の場合を考えて、施設内（王寺アリーナ、いかるがホール、王寺町文化福祉センター等）で実施する。また、その場合、密を避けるために募集人員を30名とする。
- ④ 講師は、県連にお願いする（藤田氏等）。駄目な場合は、西大和山の会で応急手当等をテキストを使って実施する。
- ⑤ 時間は、午前9時から11時までとする。また、使用する施設については、永井会長と島崎さんに確認してもらう。

以上の検討事項を11月2日開催の県連理事会に報告し、その結果、実施内容を11月6日開催の運営委員会で検討する。また、11月20日に西大和山の会として事前に講習会を実施する。

- 11月6日（土）13:00～ 窪田宅（第2回特別基金検討委員会の後で第2回運営委員会を開催）

- 11月20日（土）13:00～ 王寺町文化福祉センター（事前講習会）

2. 12月19日（日）室内例会について

13:00より王寺町文化福祉センターで開催する。

また、例年実施している忘年会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止する。

西大和つうしん

第 464 号 (2021 年 11・12 月号)

2021 年 10 月 31 日発行

発行責任者 永井章夫

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>